

館報



3月号

やまがた

No. 755

平成31年



働く
姿勢

自動車整備はお手の物

佐野 学さん(下大池)

佐野商会3代目の学さんは、新型車から古い車まで関係なく対応してくれるスペシャリストです。

取材当日も「これを直せるのは佐野さんしかいない」と村外から持ち込まれた昭和48年製の車と格闘中でした。

「頼りにされると嬉しいし、期待にはしっかり応えたい」と語ってくれました。(3月8日 佐野商会 整備工場にて)

告知板

◆地域おこし協力隊×伝承館企画◆

ふるさと伝承館で“お花見”開催します。

日 時 4月14日(日)

午後2時～午後4時まで

場 所 ふるさと伝承館敷地内
(受付は伝承館正面で行います)

参加費 500円 (小学生以下100円)

※軽食代として

その他 当日は午前9時～午後4時までふるさと伝承館を無料開館します。今まで入館されたことのない方も、ぜひこの機会にご来館ください。

問合せ 教育委員会 ☎98-3155

【ふるさと伝承館、一時閉館のお知らせ】

ふるさと伝承館は、平成31年4月30日(火)をもって施設の老朽化のため一時閉館いたします。

見学のお客様の受け入れはできませんが、収蔵資料の管理や、図書館やミラ・フード館での出張展示は、これまで通り実施予定です。

ご不便をおかけいたしますが、ご理解頂きますよう、お願いいたします。

問合せは教育委員会 ☎98-3155 までお願いします。

シャーレが来た!

2月19日(火)、トレーニンセンタ―に松本山雅FCのクラブオフィシャルマスケットのガンズくんが、J2リーグ優勝杯(シャーレ)と優勝記念トロフィーを届けにきてくれました。これは、ホームタウンキャラバンとして行われたもので、24日までロビーに展示されました。



マジックショー

2月17日(日)、小坂公民館にて「小坂あつたかマジックショー」が社会部主催で行われました。
マジシャン叶音^{かおの}さんを招き、椅子が浮いたり、リングを使ったマジックを披露し、来場者と一緒にマジックに挑戦しました。



サラダ街道合唱祭

3月3日(日)に行われた合唱祭では松本平から11団体が参加し、ミラ・フード館のホールを明るく歌声で満たしました。今年で21回目となり、「どの団体も年々上手くなっているようだ」と、常連の参加者は満足そうでした。



やししょうま作り

2月17日(日)、トレーニンセンタ―調理室にて公民館主催の『やししょうま作り』講座が開催されました。

当日は10名程の参加者が、講師の上條治子さん(中大池)と中村ゆきさん(上天池)の指導の下、やししょうま作りに取り組みました。取材に訪れた編集部員Kも蒸した米粉をこねたり、並べた生地を伸ばす作業に挑戦しましたが、予想以上に大変で額には汗を浮かべていました。出来上がったやししょうまのきれいな模様に、参加者は歓声を上げていました。



『やししょうま』の由来
お釈迦様の亡くなる直前に、ヤシヨウというお弟子さんが米粉でつくった団子をお渡ししたところ、美味しそうに食べて「ヤシヨウ、うまかったぞ」と言って亡くなれたことから、命日の涅槃会に仏様に供えるようになったと言われている。(諸説あり)
「ヤシヨウ、うまかったぞ」
「やししょうま」

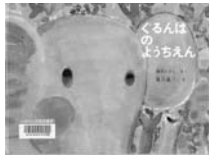
山すそ

卒業シーズンを迎え、我が家でも長女と次女がそれぞれ高校、中学を巣立つことになった。小学校までは

参観日にもよく行き、学校生活の様子を直接目にする機会が多かったが、中学、高校となると参観日には殆ど行くことが出来ず、学校生活の様子は通知表を見て知ることになった▼娘たちの通知表を見ながら、自分が子どもの頃はどうかだったか気になっていたが、通知表は20年近く行方不明になっていた。しかし、このタイミングで片付けをしていた母親が通知表を発見してくれ、当時の先生方の鋭い指摘に驚くと共に、あの頃から成長していない自分がいることにも気づいた▼人生100年時代と言われるようになり、ようやく折り返し地点を迎えるところだ。通知表ではないが、自らを省みることを忘れずに、人として成長し続けなければと改めて考える機会にもなった。受験勉強を頑張った娘や、80歳を超えても現役農家の父親など、家族からよい刺激をうけながら…

図書館からのお知らせ

春の読書週間企画 本であそぼ
「ぐるんぱのビスケットを作ろう」
絵本『ぐるんぱのようちえん』（堀
内誠一・福音
館書店）に出
てくる大きな
ビスケットを
みんなで作り
ませんか？



期 日：4月27日（土）

9：30～12：00

場 所：トレーニングセンター
食堂

持ち物：エプロン・三角巾

定 員：15組（定員になり次第し
めきります）

問合せ：山形村図書館 ☎98-3155

あなたの本との出会いをお手伝い……図書館便り

BOOK No.40

編集＝山形村図書館

ちくちくクラブ ワンピースウサギを 作りました

まだ雪が残る2月2日（土）、トレ
ーニングセンターめばえの部屋で
お裁縫の会を開きました。その名
も「ちくちくクラブ」。家に閉じこ
もりがちなこの季節に、手仕事を
楽しもうと企画しました。作った
のは、絵本『わたしのワンピース』
（にしまさかやこ）に出てくるワ
ンピースうさぎです。それぞれが
好みの柄の布を持ち寄り、手縫い
で仕上
げてい
きました。
和
気あい
あいと
した2
時間
でし
た。



自然観察クラブ 早春編 「春の野草を味わおう」

春めいた日差しが3月9日（土）、
親子8組が集まって春の野草つま
みを楽しみました。講師はアクアの
会の上條一則さんです。

いちいの里周辺では、田んぼの
あぜや日の当たる土手に、なずな
がたくさん見つかりました。ねん
ぼろやヨモギもかわいい芽を出し
ています。タンポポの根を掘って
「これはタンポポコーヒーになる
よ」、野生化した水仙を指して「こ
の水仙やヒガンバナは毒があるか
ら食べないよ」という上條さんの
言葉に耳を傾けながら、野草をつ
みました。

袋がいつぱいになったところで
いちいの里の調理室に移動して、
春の恵みをいただきます。あらか
じめ用意したフキノトウを「フキ
みそ」に、ナズナをおひたしにし
て味わいました。



おすすめ新着本紹介

『クジラのおなかからプラスチック
ク』 保坂 直紀（旬報社）
クジラのおなかから80枚ものレ
ジ袋が！東京湾のカタクチイワシ
のおなかからマイクロプラスチック



と初めての野草の味を楽しんでい
ました。

図書館には野草の楽しみ方の本
がたくさんあります。本を片手に
春の野草さがしに出かけませんか
？

新年度から変わります

「木曜日図書館へ行こう！」

乳幼児のためのおはなし会
「おはなしの会こぐま」

↓第1・3木曜日

「わらべうたの会せつせつせ」

↓第2木曜日

に変更します。

子育て支援センター「すくすく」
の行事と重ならないようにしまし
た。大人対象の「ぶつくかふえ」
は第4木曜日です。山形村図書館
のホームページでも予定表が見ら
れます。

クが！見つか
つていま
す。海洋プ
ラスチックご
み問題の最前
線を伝えます。

『ことばハンター 国語辞典はこ
うつくる』 飯間浩明（ポプラ社）

著者は『三
省堂国語辞
典』編集委員。
国語辞典をつ
くるために、



本やテレビ、インターネットや街
の中などを観察して、ことばを探
しています。

『なぜ人と人は支え合うのか
「障害」から考える』

渡辺 一史（筑摩書房）



『こんな夜
更けにバナナ
かよ』の著者
が、人と社会、
人と人のあり
方を見つめ直します。映画と共に
ぜひ読みたい一冊です。

『サルコペニア』

森惟明…編（幻冬舎）



サルコペニ
アってなに？
加齢等により
筋量、筋力、
身体機能が低
下した状態のことです。予防法や
効果的な筋トレなどを紹介します。

祝卒業！ 夢と希望と期待を胸に



6学年目標 乙 張 (めりはり)

○ 看護 師に なりたい。 羅田 悠夏	○ まだきめて ない。 大月 圭生	○ バスケット選 手 になりた い。 大澤 烈雄	○ 野生動物の 獣医に なりたい。 大池 萌愛	○ 医 者 になりた い!! 田嶋 真希	○ 世界で活躍で きる プロサッカ ー選手に なる。 伊藤 吏希	○ イトラスやス クエニアフ クスの な会社に入 る。 市川 雄太	○ 大好きな英語 をもっと勉 強して 世界に通用 する システムエ ンジニアに なりたい。 東 優希	6年1組 担任 赤羽 浩子先生			
○ 東京に行つて 好きな ことをする。 長 益寿	○ 助産士 になりた い。 牧野 穂花	○ 俳優になつて 映画に出る 清水 北奈音	○ ネットですら ある ユーチュー バーにな りたい。 佐々木 希	○ 保健師に なりたい!! 久保里 祥奈	○ 普通に会社 に 勤めて社会 に 貢献したい 金剛 俊	○ ゲーム関係 の 仕事を したい 相原 定平	○ 宝くじで等 を 当てる 唐木 瑛華	○ みんなが笑顔 になる 番組をつ くる 映像クリ エーター 上條 温子	○ お店を出 して カフェを 開きたい 上條 温子	○ 個性的な声 の 声優にな りたい。 勝山 芽実	○ おいしい料理 を作る 料理人 になりた い。 望井 知奏
○ プロサッカ ー選手にな つて ラリガで活 やくする 吉地 龍蔵	○ 僕は家でよく 料理を作 ってる うちに父と 母と料理 人にな りたい。 山田 怜	○ 丁場で活躍 できる おこなカ キ選手に なりたい。 丸山 凌矢	○ 人の役に立 つ 仕事か したい 松下 竜斗	○ サッカーに なる 料理人 になりた い。 本間 裕助	○ 薬剤師に なりたい 衆陽 人	○ 小中学校で 見守る保 育士さん になりた い。 若林 さくら	○ カウンセ ラー になりた い 原口 来夢	○ 動物園の飼 育員にな りたい。 中村 千佳	○ 患者さん を助ける お医者 さんのお 手伝い をする 看護師 中根 光希	○ 学校の先生 尾花 心希	

6年2組

担任
原 俊夫先生

○ 上手にカットできる 美容師になりたい。 上條 結衣	○ 農家直売場の従業員まで、 家族といっしょに働きたい。 上條 美月	○ いっしょでオリンピックに 出たい。 上條 仁	○ 億万長者になりたい。 花井 優太	○ 人のやくにたつ仕事 につきたい。 笠原 良仁	○ おいしいお菓子を作る パティシエになりたい。 空井 牛味	○ 人の役にたてる ことをしたい。 大瀬 七海	○ 子ども達の役に立つ 保育士になりたい。 百井 幸恵	○ ねこちゃんを飼ってみたい。 わんちゃんに会いたい。 池田 大	○ 病気に苦しんでいる人を支え てあげられる薬剤師になりたい。 雄川 花菜	○ 小林 伴翼 建築会社員	○ みんなに優しい看護師に なりたい。 倉科 理希	○ かっこいい 刑事になりたい。 郡上 心花
○ 立派な警官 になりたい。 友廣 裕次	○ おいしいおやつをつくる 料理人 寺島 拓弥	○ 甲子園に出場する 田中 倉太	○ 赤ちゃんと遊ぶ人のお手伝い をする助産師さんに なりたい。 志地 結衣	○ 剣道の世界大会に出場 したい。 高山 綾太	○ サッカーでかつやく て有名なサッカー 選手になりたい。 佐藤 大	○ 上手におかしな作れる パティシエになりたい。 佐藤 大	○ 社長になって人の やくにたつ。 鈴木 将太	○ いい人になりたい。 藤原 由香	○ 料理人になりたい。 蓮本 朋太	○ 南極に行きたい。 南雲 麻生	○ ケーキやパンを 作りたい。 中村 優月	○ みんなが あこがれてくれる ような カンパニー になりたい。 上條 陽輝
○ 動物園の飼育員になり たい。 志地 結衣	○ ペットショップで働くか アイス屋で働きたい。 百瀬 四郎	○ すごい工場で 働く。 宮島 寛幸	○ 楽しくサッカーを したい。 宮沢 悠空	○ 世界で活躍するサッカー選手 になりたい。 宮沢 光輝	○ おもしろい番組を 作るテレビスタッフに なりたい。 宮沢 光輝	○ ゴミをいっぱい回収する ゴミ収集作業員になり たい。 堀川 優太	○ いい人になりたい。 藤原 由香	○ 料理人になりたい。 蓮本 朋太	○ 南極に行きたい。 南雲 麻生	○ ケーキやパンを 作りたい。 中村 優月	○ みんなが あこがれてくれる ような カンパニー になりたい。 上條 陽輝	○ みんなが あこがれてくれる ような カンパニー になりたい。 上條 陽輝

6年3組

担任
松村 大先生

○ 多くの人の役にたてる 大人になりたい。 上條 空流	○ 動物の命をまもる仕事に つきたい。 籠田 陽希	○ 世界で活躍 プロバレーボール選手 平山 晴	○ スポーツ トレーナー 平山 晴	○ 立派な大人になる。 奥原 拓史	○ おいしいスイーツを作る パティシエになりたい。 奥原 拓史	○ 医療系の仕事 おもしろい。 山崎 悠希	○ 自分になりたいと思った 大人になりたい。 市川 優南	○ 喜んでもらえる ネイリストになりたい。 石澤 亜	○ 子ども達を笑顔にする 保育士になりたい。 朝比奈 優太	○ アレルギ科の お医者さんに なる。 堀原 くるみ	○ プロ野球選手 になる。 竹村 結人	○ 首打ちや安打王に なれるプロ野球選手に なりたい。 土屋 郁真	○ 人を助ける 医師になりたい。 寺崎 寛示	○ 看護師か 保育士に なりたい。 山崎 悠希	○ 最高の状態で競技が出来る ようにサポートする スポーツトレーナーになりたい。 藤本 佳希	○ プロバレーボール選手 平山 晴	○ スポーツ トレーナー 平山 晴	○ お金持ち 吉野 緑華	○ 絵に描く仕事！ 好きな声優さんアニメに なりたい。 百瀬 結太	○ 人をたすける仕事 百瀬 結太	○ ゲイをする人になりたい。 百瀬 結太	○ コンビニの店員 になりたい。 百瀬 結太	○ 車の整備士に なりたい。 村田 伸世	○ クリエイターになる。 三石 敬太	○ スポーツ選手に なりたい。 丸山 直生	○ 人の役にたてる 職業に就けてたら いいです。 二山 琉威	○ 看護師に なりたい。 藤谷 樹里	○ みんなの笑顔を守る お医者さん 深澤 真希	○ プロバレーボール選手に なる。 平林 想太	○ みんなが あこがれてくれる ような カンパニー になりたい。 上條 陽輝
--------------------------------------	------------------------------------	----------------------------------	----------------------------	-------------------------	--	--------------------------------	---------------------------------------	-------------------------------------	--	--	------------------------------	---	---------------------------------	-------------------------------------	--	-------------------------	----------------------------	--------------------	---	------------------------	----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--------------------------	--------------------------------	--	-----------------------------	----------------------------------	----------------------------------	--



平成最後に

公民館長 中村 則光 (上大池)

今月の
声

大きな災害が多かった平成の30年
が終わり、5月からは新しい元号で
の時代が始まるうとしています。

平成25年度からの6年間、副館長、
そして館長として微力ながら公民館
に携わってきました。

その間、村民の皆様はもとより各
分館長さんをはじめ、役員の皆様に
は多くのご協力をいただき深く感謝
申し上げます。

公民館は、三役はもちろん社会部
員、体育部員、編集部員やスポーツ
推進委員、文化団体連絡協議会等、
多くの人が関わって成り立っていま
す。色々な年代の皆様と出会い、楽
しく活動できたことは、私の財産と
なりました。

時代の変化といえはそれまでです
が、生活形態や地域社会の希薄化、
情報のグローバル化などが確実に進
んでいます。公民館活動も大きな時
代の変化に対応を迫られている時期
だと考え、70年余り(?)続いてき
た本館役員(社会部・体育部)の人
員を分館長さんとの協議の末、減ら
しました。地域の役員数が多いとい
うことで、連絡班や区に入ら
ない村民が多いと聞く中で、
すこしでもお役立てになれば
と思い協議を重ねた結論です。

公民館活動は、村民大勢の
参加が求められます。各講座
もどのように新しい参加者を
増やそうかと色々工夫はして

いますが、なかなか増えていません。
ただ、今興味があることや流行のもの
には参加者が集まりやすく、いかに早
く何を望んでいるかを察知すること
が重要と考えていました。十分とは
言えませんが、新しい講座(スマホ講
習、ハーバリウムや染物の講座等)が
増えていくのは嬉しいことでした。

また、新しい取り組みとしてはじ
めた王滝村との交流は、他の地域を
知る機会としては貴重な時間で、長
く続けていけたらと思います。そし
て70回を数える運動会も種目を減ら
し時間短縮を図りました。賛否両論
がありますが、今まで先人が苦勞し
て続けてきた運動会をやめたり中止
する事は、子ども達が将来、村での
思い出の一つがなくなってしまうの
ではないかということもあり時間短
縮をしても残したいと考えて行い
ました。

それぞれの事業を、立場や考え方
が違う人の意見をひとつにまとめて
進めてきました。それは、公民館活
動は世代、性別等に関係なく集まれ
る場所です。それぞれの意見をもち、交
流し感動を共有して、地域の生活に
関わる活動を共に行っていく場所で
あるからです。

本当に長い間お世話になりました。
新しい役員のもと山形村公民館の益
々の発展をお祈りすると共に、これ
からは村民の一人として協力したい
と思います。

ふるさと納税について、 ちょっと調べてみました

ふるさと応援寄附金(ふる
さと納税制度)は、生まれ故
郷や応援したい地域への想いを
寄附金というかたちにし、
ふるさとへ貢献するための制
度です。山形村へ寄附をいた
だいた皆さまに、金額に応じ
た村の特産品を選んでいただ
き送ります。(山形村外にお
住まいの方に限ります)
2018年度山形村返礼品
ベスト3は次の通りです。

- 第1位 お米
- 第2位 長いも
- 第3位 りんご

他にもたくさんあり、
まっちグッツ詰合せや、
まもり訪問サービスと心温
まるものもあります。気にな
る方は村ホームページをご覧
ください。

次の表は、山形村に寄せら
れている寄附金の詳細です。

山形村に対する ふるさと納税データ (2018年4月 ～2019年2月末現在)	
寄附件数	163件
寄附金額(インターネット)	4,610,000円
	(窓口受付)
	1,000,000円
合 計	5,610,000円
	(村役場総務課調べ)

寄附金を何に使って欲しい
のか、寄附者が6項目から選
び、各事業へ割り当てられま
す。件数で見ると「自然を守
り景観を創造する事業」が60
件と多かったです。

今回調べて分かったのは、
寄附金が思った以上にあった
ことで、より良い村づくりに
活かしてほしいと思いました。
村では、返礼品に協力してく
ださる方を探しています。
皆さんで山形村を盛り上げ
ていきませんか?

松林真歩路・圭祐
瞳・下大池



おめでた(子・親)

関沢さくら・将人
まどか・小坂

萩原 志伸・真輝
香菜・上竹田

おくやみ

上條万龜代・86歳・上竹田
上條 勳・75歳・上竹田
水野みよ子・91歳・下竹田
小山 邦明・85歳・上竹田

今月の声

出会いに感謝

公民館副館長 小林 佳子（下大池）



この度、六年間にわたる公民館副館長の職を退任させていただくこととなりました。

思い起こせば最初の任務は山形小学校の入学式への出席でした。その時の一年生が今年六年生となり、その卒業式が小学校へ足を運ぶ最後の任務となりました。これまで六年間が長かったと感じたことはありませんでしたが、子どもたちの成長を目の当たりにし、過ぎた歲月の長さに驚かされました。そして、関わってきた講座・行事の一つ一つをあらためて振り返ってみると、実に数多くの多彩な経験をさせていただいていたと六年間の重みを感じずにはいられません。

この間、確かに忙しくはありましたが、辛かったとか苦しかったという思いをしたことはありませんでした。「活き生き大学」を始め数々の講座に参加し、受講者の皆さんと共にしゃべりをしながら楽しい体験をたくさんさせてもらいました。じゃんずら・運動会・

文化祭・通学学舎などの大きな行事では、それらがどれだけでも多くの人が協力し合って実施されているのかを、自分が裏方の一人として関わってみて初めて気づかされました。また、私の任期中には「宝くじ まちの音

楽会」、「巡回ラジオ体操会」という減多に遭遇できない珍しいイベントも開催されました。特に南こうせつさんとステージを一緒に踊る合唱団の結成と練習に奔走したことは忘れ得ぬ思い出となりました。

この役を引き受けたとき、先輩方から「楽しくなければ公民館じゃない」という言葉をたびたびお聞きし、私にできることはまず自ら楽しむことではないかと考えました。その点では、私自身は公民館活動を十分満喫させていたかったです。

社会情勢の変化に伴い公民館行事の在り方も次第に変化していくのでしょうか、人口一万人に満たないこの村で、多くの人々が一堂に会する機会を持つことは意義のあることではないかと私は思います。「村人みんなが顔見知り」なんて素敵ではありませんか。そんな心優しい村づくりに公民館も一役買ってもらえたらと、後任の皆さまのご活躍をお祈り申し上げます。歴代の館長・副館長、教育委員会や公民館各部の方々他、これまで力不足の私を支え導いて下さった皆さま、本当にありがとうございました。何より、たくさんのお出合いが私にとってのかけがえのない宝物となったことに感謝です。楽しい六年間でした！

6年生学習発表会

3月1日(金)、6年生の学習発表会が行われました。前半は、クラスごと教室で家族への感謝の気持ちを伝えたりしました。

後半は、体育館へ移動し学年で茶話会をし、先生方が作成したスライドを全員で観ました。写真が変わるたびに、「懐かしい」と歓声が上がりました。6年間の成長を感じた時間でした。



1年間、頑張りました

3月2日(土)、トレーニングセンターふるさと大ホールにてジュニアリーダー修了式が行われました。任命式では不安交じりに抱負を述べていた児童たちも、各自が1年間の活動の成果をしっかりと自分の言葉で発表しました。



3/14(木) 鉢盛中学校
卒業生 183名
(山形 120名)



祝卒業 新たなスタート！

3/15(金) 山形小学校
卒業生 97名





フィリピンで ボランティア活動

西牧一敏さん(小坂)



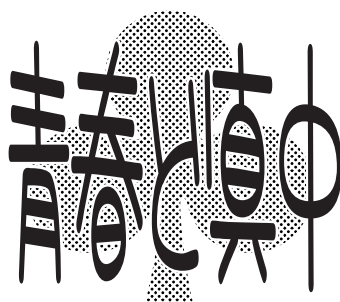
市に友好の村旗を寄贈する西牧さん(右から2番目)

私はフィリピンのマサントルで JAFIC という NGO を立ち上げ、災害救援や日本語教育などのボランティア活動をしています。マサントルは海に近く6月から9月の雨季には腰まで浸水して働けないので、行政からの援助を受け生活しています。

初めは生活の大変さや衛生状態の悪さ、モラルの低さ等マイナスイメージばかり目が行きましたが、現地の人たちは底抜けに明るく、お互いの助け合いが貧しさを優しく包んで生きていることが分かってきました。私にも「朝ごはん食べた」や「家で食べていきなさい」などと声をかけてくれます。また、誰ともなく現れて人の家の釜を開けてご飯を食べてゆく姿は理解できずでしたが、貧しさゆえ助け合ねば生きてゆけない姿は、大戦前後の日本とも通じるところがあると気付きました。今は家族として葬式に参列したり、大きな祭りのメインスタッフとして参加して、少しずつ現地の生活に溶け込んでいます。時には、日本語を覚えて日本で働きたいと訪ねて来る人もいます。私はマサントルと山形村が深い絆で結ばれる事を願いつつ、第二の故郷でボランティア活動していきます。皆様のご支援ご協力をお願いします。

すず
沼田 珠々さん

上大池
さそり座



しゅうき
大池 柊希さん

下大池
やぎ座

スポーツ選手の
サポートをしたい



野球に熱中



県内の大学に通い栄養学の勉強をしている珠々さん。管理栄養士を目指して頑張っています。卒業後は、柔道を習っていた時に減量などで味わった苦しい経験を活かし、プロのスポーツ選手だけではなく運動をしている学生などの栄養管理にも関わっていきたいそうです。

今、夢中になっているスポーツはスノーボード。

「来シーズンは、(技術認定テストの)1級にチャレンジしたいです!」

と、勉強同様スポーツにも明確な目標を持っています。

自宅の庭にて、自主トレーニングの途中で話を聞かせてくれた柊希さん。小学校4年生の時に始めた野球に、今も熱中しています。

この春、卒業する中学校での一番の思い出は、鉢盛シニアで信越大会に出場したこと、だそうです。

4月からは高校生活が始まります。高校進学後は、「大好きな野球を続けながら、大学進学を目指して、勉強を頑張ります」と、意気込みを語ってくれました。そんな柊希さん、高校での楽しみは修学旅行だそうです。